

事業説明会・ プロダクトデザインワークショップ

開発途上国・新興国では、日本とは異なる医療現場のニーズがあり、そのニーズに対応した医療機器開発の重要度が増しつつあります。日本医療研究開発機構では、日本とは異なる公衆衛生上の課題を抱えている開発途上国・新興国等における医療機器に対するニーズや価格水準に基づいた製品開発を行うために、実際に開発途上国の臨床現場で、バイオデザイン等デザインアプローチを用いたニーズの発見やコンセプト作成と上市に必要とされる研究開発の支援を「開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業」で行っております。

本事業では、今回、医療機器開発担当者を対象としたセミナーを開催いたします。当日は、日本医療研究開発機構（AMED）の本事業をご紹介しますとともに、この手法についてグループアクティビティを含めたワークショップを行います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

主催

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

日時

東京会場 2019年11月20日（水）13:30~16:00（開場13:00）

会場

仙石山森タワー 32F マッキンゼー・アンド・カンパニー IoTセンター
（東京都港区六本木1丁目9番10号）

大阪会場 2019年11月28日（木）13:30~16:00（開場13:00）

大阪国際ビルディング 16F アットビジネスセンター
（大阪府大阪市中央区安土町2丁目3-13）

対象者

医療機器メーカーの 海外事業・開発担当者

※ 開発途上国や新興国向けの技術開発をして海外展開を目指す民間企業が対象です。

定員数

東京会場 30名

大阪会場 20名

（定員に達し次第、受付を終了します。）

【お問い合わせ先】

※ 参加登録方法等につきましては、裏面をご参照ください。

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部 医療機器研究課
開発途上国・新興国等事業担当

電話：03-6870-2213

E-Mail：shinko-kiki@amed.go.jp

東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル23F

プログラム

□ 第一部 「開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業」のご紹介 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

- ・ 「開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業」のご説明

マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン（本事業支援機関）

- ・ 開発途上国・新興国等における医療ニーズ
- ・ 開発途上国・新興国等における医療機器開発の課題及び解決策としてのデザイン

□ 第二部 デザインワークショップ「カスタマー中心デザインのインパクト」

マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン

- ・ 医療機器開発においてデザインを活用したケーススタディ
- ・ アクティビティ1：Ideate
- ・ アクティビティ2：Refine
- ・ プレゼンテーション
- ・ デモ+評価

（グループに分かれて実際に体験するアクティビティ形式となっております。）

※構成、内容につきましては今後変更される可能性があります。

会場案内・交通アクセス

東京会場 11月20日（水）

南北線「六本木一丁目駅」より徒歩5分
日比谷線「神谷町駅」より徒歩8分



大阪会場 11月28日（木）

「堺筋本町」駅徒歩2分、「本町」駅徒歩5分



参加登録方法: 下記ホームページの申し込みフォームよりお申し込みください。

『開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業』事業説明会・デザインワークショップ

https://www.amed.go.jp/news/event/2019112028_ws.html